

IGNITE YOUR SPIRIT

日本特殊陶業株式会社
第120期中間 株主通信

2019年4月1日から2019年9月30日まで

2020年3月期上半期を終えて

株主の皆さまには、平素よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

2020年3月期上半期は、中国・アジア・欧州・北米などの世界的な自動車販売低迷に加え、半導体関連においてもメモリの市中在庫調整が継続するなど、厳しい市場環境となりました。このような中、主力事業である自動車関連事業では中国および米国での補修用製品の拡販、各国環境規制強化を背景とした高付加価値製品への需要シフトなどが順調に推移し、若干の減収となったものの堅調な結果となりました。また、昨年第4四半期よりCAIRE社を連結したことにより、2020年3月期上半期の売上高は過去最高となりました。しかしながら、市場環境は依然として厳しく、下半期においても大きな回復が見込めないため、2020年3月期は期初の業績予想を見直し、売上高4,330億円、営業利益540億円を予定しております。

設備投資に関しては、厳しい市場環境にあわせて内容を選択、実行してまいります。中長期的に将来の成長に必要なインフラ整備、新規事業への投資は継続して実施していく所存です。

新規事業については、「環境・エネルギー」「医療」「次世代自動車」の3分野を掲げており、いくつかの新規製品においては商品化に向けて確実に進捗しております。



代表取締役会長

尾堂 真一

代表取締役社長
社長執行役員

川合 尊

森村グループ4社による新会社で事業を開始する燃料電池事業、中長期的な半導体需要の増加を見越した5G向け通信用アンテナの開発や、当社のセンシング技術を応用した陸上養殖向けの水質管理システムの開発など、様々な領域での取り組みを進めています。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新規事業への
取り組み

森村グループ4社で合併会社を設立へ

森村グループ4社(ノリタケカンパニーリミテド、TOTO、日本ガイシ、日本特殊陶業)は固体酸化物形燃料電池(Solid Oxide Fuel Cell、以下SOFC)に関する合併会社を設立します。

SOFCは、小規模でも高効率な発電システムを実現できる可能性が期待され、家庭用、業務用、産業用など様々な領域において、エネルギー・環境問題への解決策の一つとして考えられています。各社はこれまで培ってきたSOFCに関する技術・ノウハウなどを持ち寄り、それぞれの有する経営資源を融合することで早急な商品化の実現を目指します。

SOFCとは？



固体酸化物形燃料電池(SOFC)とは、空気中の酸素(O₂)、都市ガス等を改質して取り出す水素(H₂)や一酸化炭素(CO)を利用し発電するものです。発電の重要な部分であるセルスタックの構成はすべてセラミックスで構成されています。

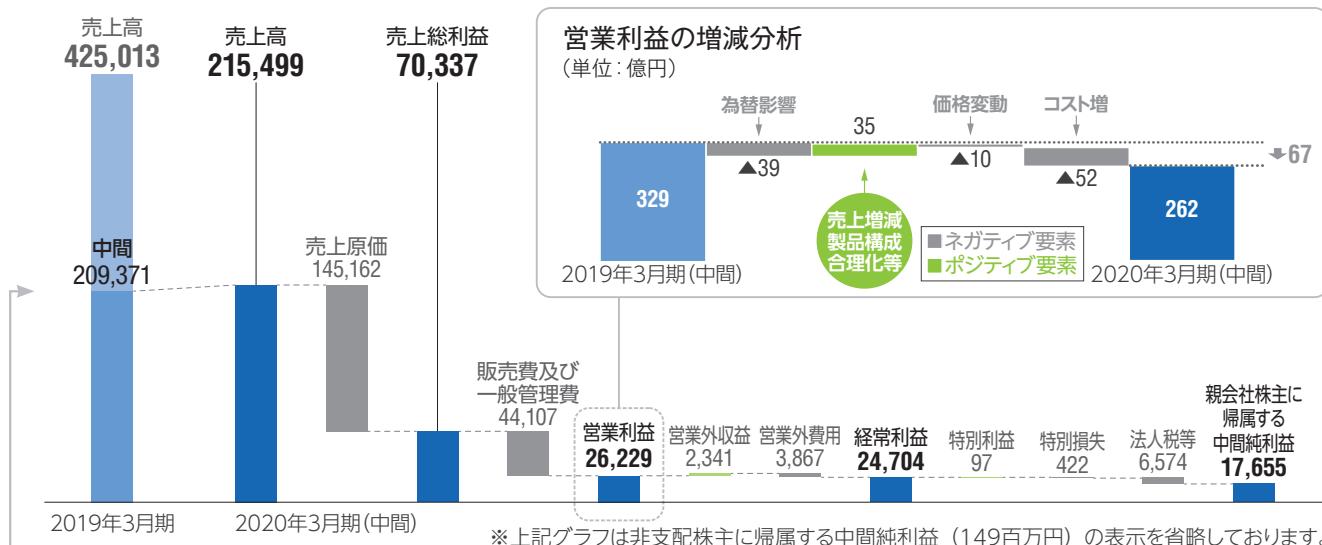
ベンチャーラボ「技術展示スペース」をオープン

オープンイノベーションの拠点としてシリコンバレー、東京に設立しましたベンチャーラボについて、当社の技術を紹介する「技術展示スペース」をオープンしました。このスペースでは、AR(拡張現実)技術を用いて当社製品を実態的に捉えることができるコーナーを用意したほか、壁面を利用した巨大スクリーンによる技術紹介なども実施可能です。お客さまやビジネスパートナーなど、ステークホルダーの皆さまに当社のコア技術を発信する場として今後も活用していきます。



Financial Data 財務状況

連結業績ハイライト (単位：百万円)



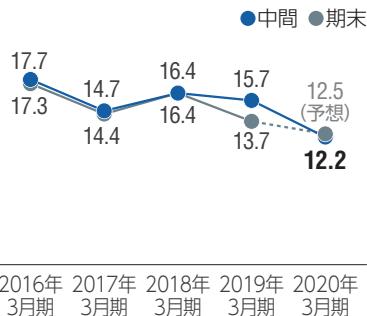
POINT

2020年3月期第2四半期の業績は、売上高で過去最高となりました。自動車関連事業では、市場環境の悪化はあるものの、当社販売は堅調に推移しました。また、半導体関連事業では、合理化を推し進めたことにより上半期で黒字となりました。一方で、為替影響や減価償却費・販管費が増加したことで2020年3月期第2四半期の営業利益は前年同期比で減益となりました。

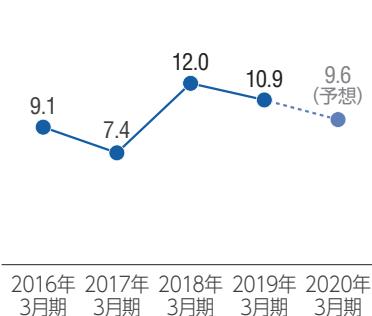
通期予想 2020年3月期 (単位：百万円)

売上高	433,000
営業利益	54,000
経常利益	54,000
親会社株主に帰属する当期純利益	39,000

売上高営業利益率 (単位：%)

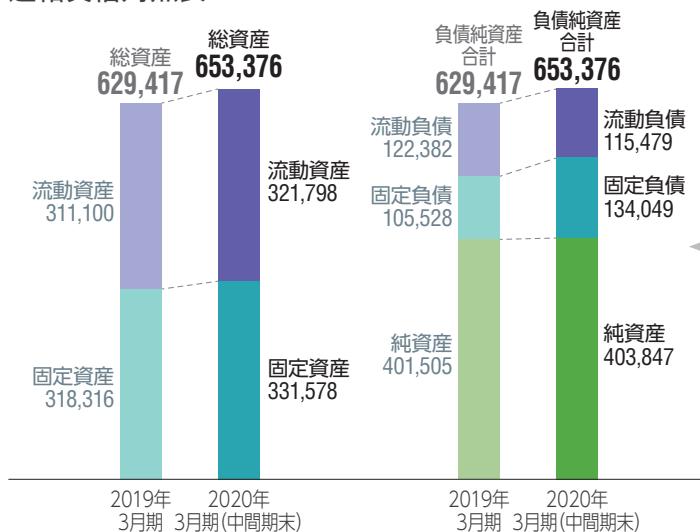


ROE (単位：%)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(単位:百万円)



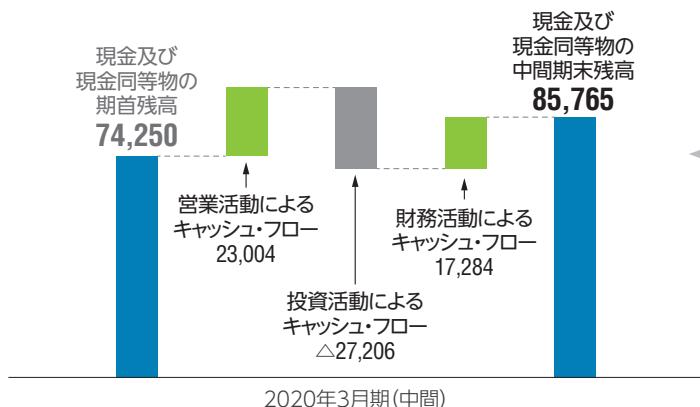
POINT

2020年3月期第2四半期は、社債発行により、300億円の資金調達をおこないました。一方で、自動車関連事業を中心に需要増を見込んだ設備投資をおこない、投資活動によるキャッシュ・フローにおける支出は前年同期比で増加しました。能力増強のための設備投資については投資タイミングを精査しつつ、引き続き進めてまいります。

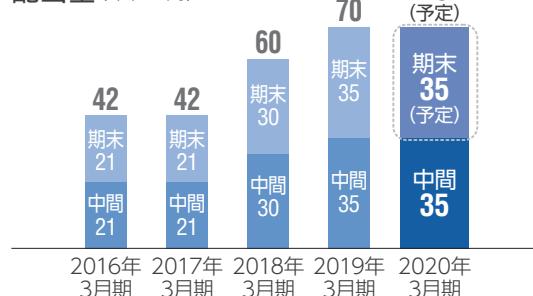
POINT

当社は、安定的な配当を基本方針として、総還元性向を意識しつつ、配当性向30%以上を目指しています。2020年3月期の配当金としましては、中間配当金を35円とさせていただき、期末配当金につきましても同様に35円を予定しております。また、資本効率の向上と弾力的な資本政策実施のため、100億円の自己株買いを実施することいたしました。

連結キャッシュ・フローの概要(単位:百万円)



配当金(単位:円)



※上記グラフは現金及び現金同等物に係る換算差額(△1,566百万円)の表示を省略しております。

詳細は当社WEBサイトの投資家情報ページでもご覧いただけます。▶ <https://www.ngkntk.co.jp/ir/index.html>

自動車関連事業

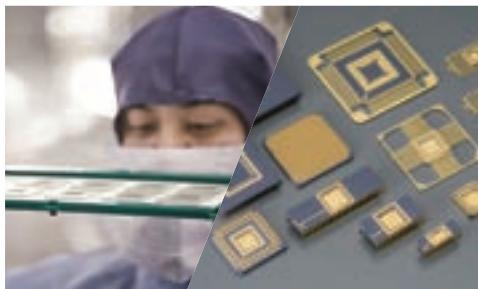


売上高 **1,766** 億円 営業利益 **276** 億円

新車組付用製品においては、市場環境等の悪化はあるものの、当社販売は前年同期を上回る結果となりました。補修用製品については、一部の地域で前年同期を下回ったものの、堅調な米国、中国市場により全体として売上は増加しました。

この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上高は0.4%ダウンの1,766億22百万円、営業利益は15.9%ダウンの276億96百万円となりました。

テクニカルセラミックス関連事業



半導体関連 売上高 **85** 億円 営業利益 **0.9** 億円

前年度に引き続き製品の選択と集中および人員削減等の合理化を推進しており、当第2四半期においても、第1四半期に引き続き利益を確保しています。

この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上高は3.2%ダウンの85億37百万円、営業利益は91百万円(前年同期は2億98百万円の営業損失)となりました。



セラミック関連 売上高 **176** 億円 営業損失 **2** 億円

工作機械向け出荷は米国および欧州において堅調に推移しましたが、半導体製造装置用部品においては半導体業界の落ち込みの影響を受け、前年同期を下回る結果となりました。

この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上高は13.0%ダウンの176億96百万円、営業損失は2億30百万円(前年同期は21億42百万円の営業利益)となりました。

※他に、「その他」の区分として、売上高126億42百万円、営業損失13億28百万円があります。

※記載金額はすべて連結ベースで表示しております。

女性活躍に優れた企業として「なでしこ銘柄」に選定



女性活躍推進に優れた企業として、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「なでしこ銘柄」に選定されました。当社は2013年より経営陣が先頭となり、「ダイヤモンドプロジェクト」と命名したプロジェクトを発足させ、全社で女性が活躍できる職場づくりに着手し、管理職や女性従業員自身の意識改革をおこなってきました。また、女性従業員の成長を応援する研修や、管理職全員を対象にしたダイバーシティマネジメントへの理解を深めるための講演会・研修を実施しています。今後も、女性がより働きやすい職場をつくるための制度の拡充を進めていきます。

Dow Jones Sustainability Index (DJSI) 「Asia Pacific Index」構成銘柄に3年連続で選定

世界的な社会的責任投資 (SRI) の株価指標である「Dow Jones Sustainability Index (DJSI)」のアジア・太平洋地域を対象とした「Asia Pacific Index」の構成銘柄に3年連続で選定されました。DJSIは、米国のS&P Dow Jones Indices社とスイスのRobecoSAM社が共同開発した指標で、社会・環境・経済の3分野から企業を分析し、持続可能性 (サステナビリティ) に優れた企業を選定するものです。当社グループは、「事業を通じて社会の役に立ちたい」という想いのもと、「事業価値」の向上と「社会的価値」の向上の両立に取り組んでおり、今回の選定は、こうした取り組みを評価いただいた結果と考えております。



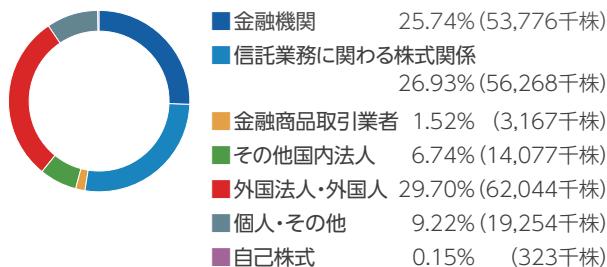
Stock Information 株式データ (2019年9月30日現在)

資本金	478億69百万円
発行可能な株式の総数	390,000,000株
発行済み株式の総数	208,911,620株
株主数	16,356名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	16,794	8.05
第一生命保険株式会社	16,752	8.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	15,720	7.53
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	12,710	6.09
全国共済農業協同組合連合会	7,964	3.81
野村信託銀行株式会社(投信口)	4,950	2.37
株式会社三菱UFJ銀行	4,380	2.09
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社トヨタ自動車口	3,929	1.88
日本生命保険相互会社	3,563	1.70
TOTO株式会社	3,433	1.64

持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



株式に関するマイナンバーお届出のご案内

株式の税務関係の手続きには、マイナンバーの届出が必要です。まだお届出をされていない株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人

特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京・名古屋(第1部)

電子公告により行います。
公告掲載URL https://www.ngkntk.co.jp/ir/public_notice/
(ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行へお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にお問い合わせください。

「統合報告書2019」を発行しました。
詳しい内容はこちらからご覧いただけます。
https://www.ngkntk.co.jp/ir/library/integration_report.html



事業内容や財務情報の
詳細は当社WEBサイトを
ご参照ください。
<https://www.ngkntk.co.jp>

NGK **NTK**
スパークプラグ ニューセラミック
日本特殊陶業



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

